

人と自然が輝く水源の郷



今年も大漁の鮎解禁

- 議長就任あいさつ、議会構成 P 2
- 6月定例会（専決処分、条例改正等） P 3
- 議案等の質疑（移住者への住宅対応は、他） P 4
- 一般質問（3人が問う） P 5～8
- 議会活動報告 P 9
- あの一般質問は・今（和出村地区国道の改良工事は） P10
- 紹介（社会福祉協議会）／がんばる人紹介（道志小学校校長） P11～12

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

人口減少対策に取り組む

村議会議長

佐藤 和彦



議長就任にあたり一言
ご挨拶申し上げます。

6月定例会において、
議会議長に推挙され、その
重責に身の引き締まる
思いです。

さて、史上初の米朝首
脳会談は、朝鮮半島の非
核化を段階的に進めるこ
とで、核に対する脅威も
一時回避されました。

村では平成27年度から
「道志村まち・ひと・し
ごと創生総合戦略」で77
項目の事業が策定され、
5年計画の折返し点とな
り現在75%の事業が実施
されています。今年度
は、雇用の場を提供でき
るような事業を展開し人
口減少に歯止めをかける
べく、サテライトオフィ
ス構想が追加され、また、
U・Iターン者に向けた
補助事業や若年層の移住
促進住宅の建設も予算化
されました。

また、「横浜市の水源地
道志情報館 水カフェ
どうし」や、村内に設置

している移住支援セン
ターも定着し、移住者向
けの見学ツアーも年3回
開催するなど精力的に人
口増加対策事業が行われ
ています。本村のキャッ
チフレーズである「住ん
でみたい村、住んでよ
かった村」の実現に向け
一歩一歩確実に進んでい
るように感じます。

村政にいささかの遅延
も許されません。限られ
た財源の中、予算内容を
審議すると同時に村政の
効率と無駄を監視しなが
ら、一方で議会からも政
策提言することをお約束
し就任の挨拶とします。

新しい議会構成

●正副議長

議長	佐藤 和彦
副議長	杉本 孝正

●委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	大田 博文	杉本 孝正	佐藤 長久	出羽 和平	佐藤 進
建設厚生常任委員会	山口 博康	池谷 高明	菅谷 政文	佐藤 和彦	佐藤 一仁
広報常任委員会	菅谷 政文	佐藤 長久	杉本 孝正	佐藤 進	
議会運営委員会	出羽 和平	大田 博文	山口 博康	菅谷 政文	

6月 定例会

専決処分の承認、条例改正等可決

6月定例会は6月12日から15日まで開催され、報告（1件）、専決処分の承認（3件）、条例改正（1件）、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件（1件）、発議（1件）を審議可決しました。

また、一般質問は2人の議員が一問一答／1人の議員が一括方式にて村政の考えを問いました。

おもな審議事項

●報告

平成29年度道志村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告を受けました。

●承認 3件

- ・道志村税条例等の一部を改正する条例
- ・平成29年度道志村一般会計補正予算（第6回）
- ・平成29年度道志村後期高齢者医療特別会計補正予算について専決処分（※）の報告を受けました。

●条例改正を可決

日本一の水源の郷づくり道志村応援寄附金条例の一部を改正する条例を可決しました。

●諮問

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件を調整後決定しました。

●発議

太陽光発電設備の立地規制等に係る法整備等を求める意見書を国へ提出することを可決しました。

※専決処分とは？

専決処分とは議会の権限に属する事項について、村長が議会に代わって意思決定を行うことを言います。議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるときに行われ、次の定例会あるいは臨時会で議会の承認を得なくてはなりません。

QA 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 消防設備の充実

●放水ホースの補充は？

A 4月10日に大渡地区並びに椿地区において発生した火災の消火時に消火栓より火災現場までのホースが足りなかった等の意見があり、本年度は55本購入予定でしたが35本追加し合計90本購入します。また穴の開いたホースは、放水訓練等において確認し交換していきたい。

Q 公園への遊具設置は

●子供をつれ他市町村に行き遊ばせているが村内設置の計画は？

A 場所、予算の都合上早急には対処できない。
当面の間、土曜日、日曜日は保育園の遊具を開放している。

Q 移住者への住宅対応は

●移住者の増加に伴い村営住宅の進捗状況は？

A グリーンロッヂ跡地に2棟建設予定であったが、設計管理に検討を加え、今年度中に単身者向けも含め、3棟建設予定です。

6月定例会一般質問一覧

■ 杉本 孝正 議員

1. 人口減少対策は
2. 学童保育所どうしこの活用は

■ 佐藤 和彦 議員

1. 村内景観阻害看板の対処は
2. 水カフェどうしの今後の計画は
3. コンビニエンスストアの進捗状況は

■ 大田 博文 議員

1. 登山道の整備状況は
2. 砂防事業の状況は

一般質問 村政を問う ここが聞きたい

3人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで8月中旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は9月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
本会議10人（席の都合上）
- ・ 6月定例会の傍聴実績
本会議1人
- ・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-521112

※一般質問の形態・方法が変わりました。平成28年9月定例会から一問一答方式を試行的に行っています。

Q人口減少対策は Aビジョン達成に向け努力



杉本

総合戦略では、2060年の人口を1562人として、道志村への「新しいひとの流れをつくる」、「新しいライフスタイルをつくる」、を二本柱に、5年後の数値目標を、移住者数年間8名、合計特殊出生率(※)を1・58としているが、具体的な取り組みと進捗状況は

村長

道志村まち・ひと・しごと創生総合戦略では、二つの基本目標を掲げ、戦略事業を計画的に実施し、特に早期に取り組むべき事業を中心に着実に進め、道志村人口ビジョン達成に向け努力しています。

ふるさと振興課長

平成29年度においては、49名の転入者がありました。49名の意思による移住者は29名であり空き家バンクや移住ガイドを通じた移住者が6名となっており、「移住支援センター」の効果が見れているものと思っております。引き続き移住者支援に係る各種補助制度の情報発信をしていきます。

次に合計特殊出生率



については、平成29年は1・66と目標数値を上回っています。これは本村の充実した施策の結果によるものと理解しますが、小規模自治体では合計特殊出生率の変動が激しいため、引き続き施策を続け努力していきます。

Q 昨年9月の定例会で、学童保育所の利用を考えると、「学習塾開設の検討を行っております」との答弁がありました。その後の進捗は

A 学童保育所では難しい

教育長

大手学習塾からの提案を受けて、検討してきました。

提案によりますと、塾

が始まるまでに長い時間待たなければならぬことや、塾の始まりが遅いために帰宅する時刻もだいぶ遅くなります。

夏休みと冬休みには、学童保育所は1日をおしての開所となりますので、塾の開設ができません。

学童保育所は中学生が学習するにはスペースが手狭であり効果的な学習支援には無理があります。

従いまして、「学習塾を開設することは難しい」との判断をいたしました。

(再質問あり)

※合計特殊出生率とはその年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものの。



佐藤和彦 議員

Q 村内景観阻害看板の対処は A 撤去するよう指導予定

佐藤

村内には、公共・個人
の案内看板が景観を
阻害していることについ
て、村としての見解は

産業振興課長

看板等を設置するに
は、県の屋外広告物条例
や村の景観条例に基づい
た届出が必要ですが、施
行前に設置されたもの
や、無届での設置物も有
る状況です。

平成30年度には、屋外
広告物台帳により現地調
査を始めます、台帳の更
新により無許可での設置
や、景観阻害物は撤去指
導の予定です。

Q「水カフェどうし」
の、これまでの経過と
今後の計画は

A 横浜市民との交流
を促進

ふるさと振興課長

水カフェどうしは、横
浜市における道志村の情
報発信拠点として、観光
情報やイベント情報の発
信、移住相談窓口として
本村の魅力を伝え、認知
度を高め、村への誘客や
移住促進を積極的に図っ
ています。

平成29年9月のオー
プン以来、本年5月末ま
での実績で約6万5千
人の来場客があり、水カ
フェを機に道志村への
移住を検討するなど、横
浜市民が水源地道志村
との交流施設として活
用しています。

これまで、お客様か
らの様々な声を「業務報
告書」という形で受託者
である「(株) どうし」
から報告を受け、関係部
署と情報の共有を図って
います。観光や移住に関
する問い合わせが多く村

づくりを推進するうえで
も貴重な意見となってい
ます。

今後も、情報発信を積
極的に行いながら新たな
来場客も確保し、横浜市
民との交流を促進してい
きます。

Q 村民の大部分がコン
ビニの誘致を要望して
いるが、これまでの経
緯と今後の展開は

A 買い物・公共交通
改善庁内検討会で
協議中

ふるさと振興課長

平成27年度に実施し
た村民アンケートでも、
「住みにくい」、「どちら
かといえば住みにくい」
と回答した56・5%の主
な理由に「買い物不便
だから」が37・7%と二
番目に多い結果となっ

ています。

さらに、U・Iターン
者に対象を絞ったアン
ケート回答者の49・5%
は「他市町村と比較した
道志村の良くない点」の
問いで「買い物など生活
活動の利便性」が最上位
となっています。

現在、村では「買
物・公共交通改善庁内検
討会」を発足させ住民の
の要望に応えられるよう
検討しています。

(再質問あり)



中学生による水カフェどうしでの職場体験

Q 登山道の整備状況は A 安全確保に努める



ひろふみ
大田博文 議員

大田

近年、年ごとに登山者が増加している傾向があり、道志村でも登山道を整備し、安心して登山できるように努力していますが、最近の整備状況は

産業振興課長

登山者数に関する正確なデータは把握していません、役場への問い合わせ件数や道路沿いを歩いている登山者の状況などから増加しているものと思われま

村では例年5月から6月にかけて、のべ100人〜120人ほどの作業員により登山道及び遊歩道の草刈や軽微な修繕を実施し、安全確保に努めています。



登山道入口

大雨による崩落等に危険な箇所においては予算を確保し修繕工事を行って

Q 台風や集中豪雨で

土砂災害の危険性が高くなっています。崩落や土砂が洗い流され、河川周辺の災害発生が懸念されます。本村の砂防事業の状況は

A 優先度の高い箇所から

産業振興課長

近年は大型台風・集中豪雨・ゲリラ豪雨など短時間で多量の雨が降り一気に河川に流れ込み、勾配が急な区間では河床を洗掘し、勾配が緩くなったところに堆積する傾向が強くなっています。

村の対策としては、毎年道志川の河川管理者である県の建設事務所による望書を提出しており、また建設事務所や林務事務所と合同で危険箇所パトロールを実施し、砂防事業や治山事業を進めています。ご質問の進捗の状況についてです



台風で川底が下がった道志川

が、台風や豪雨ごとに状況が変化していますので、その都度優先度の高い箇所から順次山梨県で事業化されています。(再質問あり)

議会活動報告

●道路河川改良要望箇所視察

平成30年4月19日

富士・東部建設事務所と道志村議会が合同で国道413号線他河川砂防危険箇所調査を4月19日午前10時から県道路・河川管理者と渡辺英機県議、道志村議会議員7名、産業振興課長外3名、総勢15名で、国道413号他道路危険箇所8件、道志川他河川災害危険箇所11件合計19件の踏査を実施した。調査終了後、出羽議長から要望書を寺岡支所長に渡し受理された。懸案は優先事案として計画する中で荒井橋、神川橋の橋台洗堀防止工として、ポトルユニットの設置を先決施工した。



改良要望箇所視察風景

●総務常任委員会の活動

平成30年5月10日

公民館1階会議室において、常任委員会を開き、前回までの小中学校教諭へのアンケート結果の検証を引き続き行う中で、委員会としては、グラウンドの水はけ問題、屋内プールの整備や今後の運営、また、通学路の危険個所の対策などの問題点について、建設厚生常任委員会とも協議し、担当部署への提案をしていきたい。

また今後は、教育関係だけでなく、総務課、ふるさと振興課などにも、より良い住民サービスが行えるように村民の意見を集約して、村当局に提案、提言を総務文教常任委員会としても行っていきたい。

●平成30年度町村議会議長・副議長研修会

平成30年5月10日

全国町村議長会主催の研修会に参加しました。特別表彰された長崎県小値賀町議会より「議会の権能の使い道と議会の立ち位置の有効活用」と福岡県大刀洗町議会、徳島県那賀町議会から、議会活性化への取り組みについて、発表がありました。

2日目は、全国都道府県議長会次長より議会運営の講演がありました。

●群馬県昭和村議会視察研修受入

平成30年5月22日

群馬県昭和村議会議員、事務局14名が来村しました。両村とも横浜市と深い交流があり、その歴史や交流内容について意見交換をしました。

その後、横浜市水源管理事務所に移動し、水源林の管理や、道の駅どうしを視察して、次の訪問地横浜市へ向かいました。

あの一般質問は今…

平成27年12月定例会

質問

国道413号和出村地内の改良について

答弁

和出村地内の道路改良は通学路を含めた一帯改良の検討も必要であり予算的にも高額であるため県の国道改良の方針と整合性を図り要望活動をしていく。

平成28年6月定例会

質問

老朽化した観光施設等の見直しが必要ではないか

答弁

平成28年度中に公共施設管理計画を作成し経費負担の削減を図り的確な管理をしていく。また、同計画を作ることでより解体費用に起債を充当できるので予算確保が容易になる。

その結果今は



平成29年2月公共施設等管理計画を作成し平成68年度までの40年間の公共建築物、インフラ設備等の施設の在り方の基本計画の中で総合計画とも整合性を図りながら管理している。



最近の経過

- ・平成29年地権者全員と関係者で再度要望書の提出
- ・本年6月新設計図面完成

今後の予定

- ・杭打ち後、現地確認、承認後工事着工

議会の考え

「道志村公共施設等管理計画」に基づき管理されているかを検証していく。

和出村地区、岩瀬部落入口交差点は村内で一番の危険個所の為、一刻も早い改良が望まれるので今後も推移を見守っていく。

紹介

しょうかい

道志村社会福祉協議会

福祉活動
専門員

佐藤 典子



分野の事業展開、ボランティア育成、県からの委託事業など多岐にわたっており、仕事の幅広さに驚きました。

日頃より、社会福祉協議会の事業につきましてご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。私は平成29年4月に採用になり、早くも1年が経ちました。これまでの1年を振り返ると、社会福祉協議会の仕事を、理解しながら進めることに精一杯だったと感じています。社会福祉法人としての運営から、村にあった福祉

村では高齢化率が年々上がり、少子高齢化が著しく進んでいます。地域により福祉ニーズも違えば、生活圏域も様々です。社会福祉協議会の役割は、地域で暮らす皆様、他、民生児童委員、社会福祉関係者、関係機関の参加協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指すことを目標にしています。昨年度、社協では共同

募金の配分金と村の補助金で福祉車両を購入しました。従来、車いすから車両に乗せ換えていたことで、その負担と利用者の怪我の危険性がありました。今回の購入車両は車いすに乗ったまま車両に乗ることができ、さらに、普段車いすを使用しない方でも貸出用車いすと一緒に借りることで、安全に出かけることが可能ですのでご活用ください。

そして、今後は益々ボランティア活動を活性化し、「困りごと」と「できること」をつなげていくことで共に支えあえる地域を目指していきます。

多くの方々の支えで『社協』の運営ができて、これに日々感謝し、これからも、子供から高齢者

まで住みよい道志村を実現するためにニーズに合わせた福祉について考えていきたいと思えます。



民生児童委員による高齢者世帯訪問

がんばる人紹介

子どもが輝く学校づくり



道志小学校
校長 山本 成利

四月に赴任し、豊かな自然、木の香漂う小中一体型校舎、何事にも前向きに取り組む子どもたちに囲まれ、充実した日々を送っています。

いつの時代にあっても学校は、未来を切り拓く子どもたちの夢にあふれ、自立に向かう子どもたちの豊かな学びや確かな育ちがある場ではなくてはなりません。そのため、学校は自らの夢を実現させようと、目を輝かせながら学ぶ子どもたちのよさを生かし、可能性を引き出し、未来をたくましく生きる力を育む、大切な成長の場でありたいと思います。

そこで、私たち教職員は、「教育は人づくりであり、子どもが輝く未来づくりである」との考えに立ち、子どもたちの小学校六年間の成長を見通しながら、子どもの目線に立った教育を推進し、学校教育を充実させ、子どもたち一人ひとりが輝く学校づくりをめざしていきたいと思っています。

そのために、私たちは、日々の教育活動のなかで、子どもたちとしつかりと向き合い、子どもたちの大切な夢を共有しながら、未来を切り拓く確かな学力の向上に努めていきます。

子どもが輝く学校づくりを推進していくためには、学校・家庭・地域が連携し、その役割を互いに理解しながら、子どもたちの学びや育ちを、地域社会全体で見守り、支えていくことが重要です。今後とも、御支援と御協力をお願いいたします。

編集後記

6月定例会も終了し私も議員も折り返しの任期へと入ってまいりました。委員全員が新人で右も左もわからない中で、スタートで、多くの失敗を数えた今日までの歩みでした。関係各位の皆様への感謝のみの2年間で有った様に思います。

また、年1〜2回の広報勉強会に参加し多くの事も学び取り入れてきました。どうすれば読みやすくなるか、読んでもらえるかが全てでした。

今後も今まで以上に努力し、一人でも多くの皆様に読んで頂ける「どうし議会だより」を目指して頑張る事を約束し、編集後記とします。(菅谷政文)

写真募集中

(議会だよりに掲載させていただきます)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進